授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相武台東小学校　　花岡　菜穂子

単元名　第４学年　「お気に入りの場所」

実践のポイント（工夫）

・校内のお気に入りの場所を見つけ、理由を添えながら文章を書く。

・相手意識をもって伝えたいことが伝わるように書く。

・お互いが書いた文章を読み合い、よりよく伝わりやすいように書き直す。

実践内容

|  |
| --- |
| 　○校内のお気に入りの場所を決めて、教育実習生の先生に紹介する文章を書く。　　　①お気に入りの場所を探し、その場所から見える見える景色や物を絵に描く。　　②その場所がなぜお気に入りなのかを箇条書きにしメモをする。　　③メモをもとに下書きを書く。（その場所でのできごとや思い出も添える　　○下書きの書き出しや書き方を提示する。　　　・書き出し、文の構成、文末を考えて書く。　○書いた紹介文を隣の人と交換し、読み合いながら文章を整える。　　・お互いの紹介文を読み合い、伝わりにくいところに線を引く。　　・誤字や脱字にはわかるように○や×、吹き出しなどを使って書き込む。 |
|

成果

　・今回は、教育実習生の先生に学校を紹介したいという思いがあったので、児童はお気に入り　　の場所を楽しみながら探していた。

　・紹介文を書くためには、目的意識、相手意識を高めることで、書く意欲を高めることが　　大切だと感じた。

　・書いた文章は実習生にも読んでもらえるように掲示することを伝えてあったので、文字　　や絵を丁寧に書こうと集中して根気よく書き進めていた。

　・書き出しと文末の書き方を提示したことで、書くことが苦手な児童も取り組みやすくな　　った。

　・児童同士で文章を読み合い、誤字脱字を直すことができた。

　・お互いの書いた文章を読み合うことで、お互いの表現の違いや良さに気付くことができ　　た。

　・学校内の場所だったのでお互が選んだ場所をイメージしやすく、その場所の良さに共感する　　ことができた。

課題

　・児童同士で文章の誤字脱字を直すことは容易にできていたが、構成や内容まで直すこと　　は難しいと感じた。

　・構成を考えるときには、簡単な文章を付箋に書いて自由に並べ替えられるような工夫を　　するとよかった。

　・指導する側としては、学校内の場所を紹介する文章を書く方が的確なアドバイスや指導　　をすることができるが、児童が紹介する場所を地域に広げた方が場所の重なりがなく多　　様な紹介文になったのではと感じた。